

地域支援活動例： 地域の関係機関や住民と連携して、空き家を活用したサロンの立ち上げ

1



CSW

(コミュニティソーシャルワーカー)



高齢者の生活支援推進員

(生活支援コーディネーター)

地域で困っていること
(地域課題)について話し合い

【地域課題共有】



高齢者総合相談センター
(地域包括支援センター)

CSWが感じている地域課題

- ・若年層なども集えるの場(外出先)が少ない



高齢者総合相談センターが感じている地域課題

- ・独居高齢者の増加
- ・集いの場(外出先)が少ない

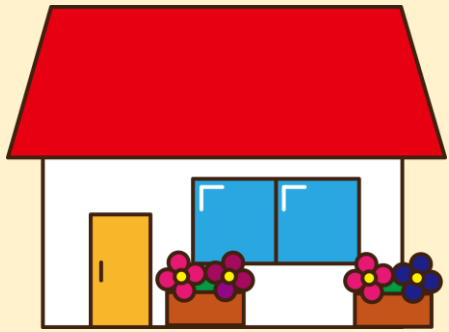


2



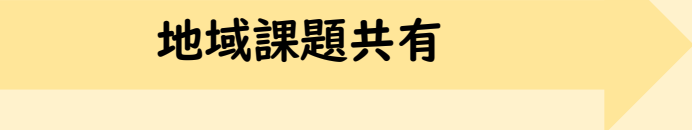
介護予防リーダー、サポーターなどの地域住民
・集いの場が地域に有ったほうが良い
・顔が見える関係が認知症予防、介護予防になる

介護予防リーダー



マチノオトとは??

詳しくはこちら



空家の活用・再生を通じた地域活性化を目指す有志のプロジェクトチーム。
「ものづくりをきっかけに人と人がつながる町の音をつくる」ことを目指して、2015年9月より、ものづくりイベントを中心に細く、長く、ゆるく活動中。



空き家を活用している「マチノオト」
・持ち主も定期的に地域で使用してほしい

3



集まって話し合う中で

地域住民、マチノオトで茶話会を開催

→地域情報収集の場に

→地域で顔がつながる機会となり、お互い様の関係に

→集いの場ができたことで、介護予防や社会参加のきっかけに

うちも空き家状態の事務所があるから、何かに使えないかしら

最近、モルックというスポーツが流行っているわ

モルックは頭も体も使う！モルックで介護予防がしたかった！



4

空き家活用を検討していくなかで、たくさんの居場所ができました。



①新たな空き家活用情報が入った

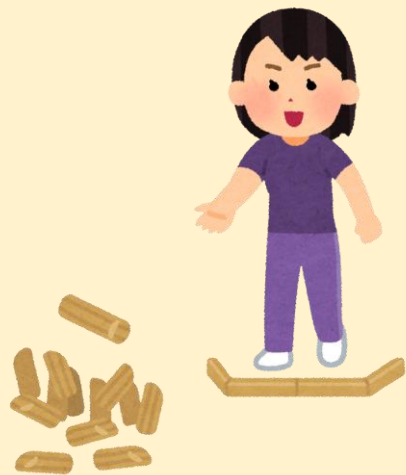
②モルックの知識がある介護予防リーダーのマッチング

あがっていた地域課題

- ・居場所、集いの場が少ない
- ・介護予防リーダーの活躍の場が少ない

通所型サービスB

自主活動グループ



- ・地域の通いの場、居場所
- ・新たな地域資源創出
- ・介護予防リーダーの活躍の場

ささえあいのある地域づくりへ

